

図画工作科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
・はさみやのり、クレパスなどの用具の基本的な使い方ができた。 ・絵の具の使い方が身に付いていない児童がいる。	・絵や立体、工作に表す活動を楽しみながら、意欲をもって作品に作りに取り組んでいる。 ・自由に想像を膨らませた表現より、教科書や板書の見本を基にした表し方をする児童が多い。自分なりにどのように表すかを考えて工夫することに、難しさを感じている。	・よく見て描くことが苦手な児童がいる。 ・取りかかりはよいが、最後まで意欲が持続できず、作品がきちんと仕上がらない児童がいる。 ・発想が乏しい児童がいる。 ・表現することを楽しんで取り組む児童が多い。	・説明をよく聞き、学習に取り組む児童が多い。 ・静かに活動する児童が多い。 ・じっくり考えながら、丁寧に作り上げることができない児童がいる。	・個別に声掛けや助言をすると、素直に反応し、取り組む児童が多い。 ・後始末を率先して行う児童が多い。 ・用具（はさみ・のり・水彩絵の具）を正しく使うことができない児童がいる。	・好奇心旺盛で、意欲的に学習に取り組む児童が多い。 ・後始末を班で協力して行う児童が多い。 ・自分の表したいイメージに合わせて、形や色を工夫する児童が多い。 ・見通しをもたせ、個別指導が必要な児童がいる。

2 課題や授業の改善策

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
知識・技能	・表したいことに合わせた材料や用具を使い、基本的な技能を身に付ける。	・いろいろな形や色があることに気付かせ、多様な表し方があることを示す。 ・手や体全体の感覚を働かせることや、基本的な画材や道具の使い方を身に付けさせる。	・色や形、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 ・板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全な使い方を毎時間確認できるようにする。	・色や形、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 ・板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全な使い方を毎時間確認できるようにする。	・動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 ・表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かして活動できるように助言をする。	・動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 ・表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かして活動できるように助言をする。
思考・判断・表現	・児童同士の交流や教師のアドバイスを通して、表したいことや表し方などについて考えられるようにする。	・いろいろな形や色、友達の作品など、多様な表現方法に触れさせることで、自分の見方や感じ方を広げさせ、自分なりのイメージや発想をもてるようにする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。
主体的に学習に取り組む態度	・操作過程の鑑賞や協力しながら作成する場面を設定する。	・つくり出す喜びを味わうとともに、いろいろな形や色などに関わることで、自信をもって表現できるようにする。鑑賞の活動を通して、学級内でも、互いの作品を認め合う雰囲気を大切にする。	・ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切にする。 ・造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。	・ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切にする。 ・造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。	・ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切し、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。 ・造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。	・ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切し、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。 ・造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。

※重視する内容は、網掛けで強調する。